

令和元(2019)年度学校と地域の連携推進セミナー① 実施報告

実施日：令和元年7月2日（火）

○ 講話「学校を核とした地域づくりのために～学校と地域は何をすべきか～」

文部科学省 総合教育政策局地域学習推進課 地域学校協働活動推進室長 西川 由香 氏



西川室長は、地域学校協働活動について、多くの都道府県等で講演をされています。

講話では、「社会に開かれた教育課程」の実現には、持続可能な仕組みと環境整備が必要であること、地域とともにある学校づくりのキーワードは「協働」であることが示されました。そこで、まずは「熟議」から始め、WIN-WINの構図が大切であると説かれました。併せて、栃木県内のコミュニティスクールや地域学校協働本部の状況等についてお話しいただきました。

【受講者の感想から】

- ・国からの通知を読むだけでは、内容を理解することが難しかったため、制度面の話を聞くよい機会となりました。
- ・同じ目的に向かって地域や学校をつくっていくために、熟議が本当に必要だと思いました。ぜひやってみたいと思います。
- ・地域学校協働本部になることでどう変わるのかが、今日の講話でよく理解することができました。
- ・コーディネーターは学校と地域の橋渡し、ボランティア的なものにとらえていましたが、学校と対等な立場であること、活動意識、方向性がよく分かりました。



○ グループトーク



受講者の立場をもとにグループを編成し、講話内容をふまえてグループトークを行いました。始めに担当業務や担当教科の話も含めた自己紹介をした後、本日の講話を聞いて感じたことや思ったことについて振り返り、参考になったこと、心に残った言葉について話し合いました。短い時間でしたが、受講者は様々な考えに触れることができ、有意義な時間となりました。

【受講者の感想から】

- ・他地域で協力いただいているコーディネーターの方とお話ができる機会がもて、大変よかったです。
- ・社会教育に興味がある方は、どんどんアイデアが出てくるので、地域のことや考えを聞けるよい機会になりました。
- ・グループトークは実践の話を書くことができ、実りあるものとなりました。
- ・これからは、働き方改革も含め、学校と地域がよりよく連携して、さらに子どものためになるようにしていきたいです。
- ・地域コーディネーターの方と意見交換をする場を初めてもてたので、とても参考になりました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

